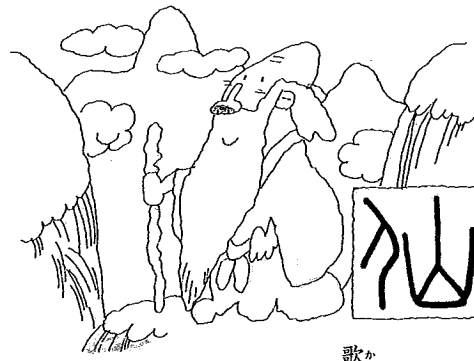


仙

おん セン

5画
イ 仙 仙 仙

なりたち 俗界をはなれて山に入り、不老不死の術を修めた人を表した字。山と人との会意形声字。「仙人・やまびと」。



仙

いみじゆく

▼俗世間を離れて山に入り、不老不死の術を修めた人。
仙術：仙人が行う不思議な術。
仙薬：飲めば不老不死になれるという不思議な薬。仙丹。
仙境：仙人が住む(ような)、人里離れた景色のよい所。

▼芸術、特に詩歌などで、その道を極めた名人。
詩仙：詩作に熱心で、世事を超越した人。特に李白(はく)。(中国唐代の詩人)をさすことがある。

歌仙：①和歌にすぐれた人。例 三十六歌仙 ②連歌・俳諧(はく)で三十六句で一体をなすもの。三十六歌仙になんて始められた。



仙 仏

仏

おん ブツ ほとけ

4画
イ 仏 仏 仏

なりたち ムは鼻の形で「私」の本字。私(吾(わ))を真に理解することを悟りという。仏は悟りを開いた人を表した字。特に釈迦(しやく)を指すことが多い。旧字体は佛。



佛

いみじゆく

▼ほとけ。
仏教：釈迦牟尼(しやく)がインドで開いた宗教。現世の迷いを去って悟りを開き、仏になることをめざした。
仏心：仏の情け深い心。また、仏のような情け深い心。

用例 仏心を起こす。
仏典：仏の教えを書いた本。
仏法：仏の説いた教え。
仏門：仏の説いた道。仏教。

用例 仏門に入る。(仏教に帰依して僧になる。)
念仏：仏の姿を心に思い浮かべながら、その慈悲を請うて仏名を唱えること。特に「南無阿弥陀仏(なんぶあみだぶつ)」と唱えること。

▼フランスのこと。
英仏海峡：イギリスとフランスの間の海峡。

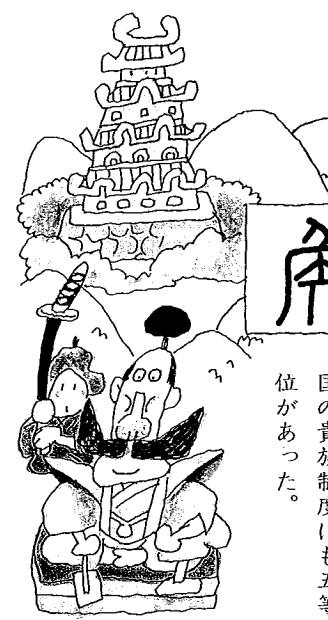
よみかた 仏頂面・仏滅・成仏

侯

おん コウ

9画
イ 侯 侯 侯 侯

なりたち 侯は古い形は尹で崖(い)の上にいる人の形。崖の上にいる敵を矢で射ようと様子をうかがうことを表した字。侯の本字。転じて、天子を助けて敵を討つ「領主」の称になり、うかがう「は候」になった。



侯

いみじゆく

▼領主。
王侯：王と諸侯と。土地人民を支配する権力者の意味。
諸侯：一定の土地を支配していた封建時代の権力者。わが国では大名。

藩侯：「藩」は家の周囲に植える垣根。天子の守りの意味で大名のことを言う。藩主。
列侯：多くの大名。諸大名。
諸藩主。諸侯。

侯爵：諸侯の位(爵位という)の第二位。公爵に次ぐ。明治以後昭和二十年までわが国の貴族制度にも五等の爵位があった。

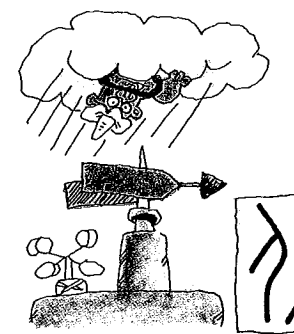
侯 候

候

おん コウ そうろう

10画
イ 候 候 候 候

なりたち 候は、侯が諸侯(領主)の意味に使われるようになったため、候に「人」を加えて「うかがう」専用の字としたものである。様子をうかがうことから「様子」の意味にも使われる。



候

いみじゆく

▼うかがう。
斥候：敵の様子をうかがうこと。敵情を探り調べること。また、その兵。
伺候：貴人の機嫌をうかがうこと。転じて、貴人のそば近くはべること。

▼様子。状態。
天候：天の様子。空模様。
気候：ある土地の平均的な天気の状態(気温・雨量等)。
季候：季節と天候。 **用例** 大変良い季候になった。

▼天候。気候。
測候：天候や気候を観測すること。 **用例** 測候所

▼そうろう。
候文：たとえば、犬であると「うのを「犬にて候」と書く文章のこと。
よみかた 時候・兆候・徴候・立候補